各位

静岡市駿河区弥生町6番1号学校法人 常葉大学理事長 木宮健二

常葉大学浜松キャンパス用地の売買契約締結について

本日、本法人は浜松市(以下、「市」といいます。)と市有財産売買契約(所在地:浜松市中央 区寺島町 450 番 1、地積:9,799 ㎡、売買代金 5 億 9,701 万円)を締結しました。咋年 1 月 22 日に 市と同契約について仮契約を締結しましたが、その後売買代金を決定し本契約となりました。

常葉大学浜松キャンパス (3学部及び大学院1研究科、学生1,560名、教職員212名、所在地: 浜松市浜名区都田町1230番地、敷地面積:213,551㎡)の教育研究環境の充実や通学の利便性の向上を図るため、かねてより浜松キャンパスの移転を検討してまいりましたが、本契約により用地の取得が完了したこととなります。

既に、昨年9月に設計・施工事業者として㈱大林組を選定して、10月からは校舎建築に向けた 設計業務を開始しております。設計期間は令和6年10月から令和8年2月までの1年5ヶ月間、 施工期間は令和8年2月から令和9年11月までの1年10ヶ月間をそれぞれ予定しています。

引き続き、令和10年4月の新キャンパス開設を目指して移転の準備を進めてまいります。

【添付資料:キャンパス新校舎予想図】

理事長談話

本日の学校用地の取得により、浜松キャンパスの移転を始動することが出来ることを嬉しく思います。加速化する 18 歳人口の減少に対し、経営基盤の強化は学校法人として最も重要な課題であり、ひとつの改革になるものと考えます。これを機に新校舎建設に向けた準備活動のギアを上げて、キャンパス移転が日程的にも余裕あるものとなる様目指してまいります。

あわせて、キャンパス移転を通じて、教育研究活動や地域貢献活動の更なる充実を図るとともに、 キャンパスの運営が、市の進める中心市街地活性化の促進や賑わいの創出の一助となるよう努める 所存です。

大学学長談話

交通の利便性が良くなることで、教育研究に加え、ゼミやサークル活動などをこれまで以上に活発に進めることができます。

新キャンパスのコンセプト「地域に根差し、次世代の若者の夢をかなえ、地域とともに新しい街を創造する」のもと、「静岡で学びたい、静岡で生きていきたい」と考える高校生の皆さんが、この地で充実した教育と学生生活を送ることができるような大学づくりを推進してまいります。

